

# 上大津地区小学校適正配置実施計画 ＜中間提言＞

平成30年11月

土浦市上大津地区小学校適正配置検討委員会

## 目次

I	はじめに	1
II	住民説明会及び検討委員会について	2
	（１）住民説明会の開催状況	2
	（２）土浦市上大津地区小学校適正配置検討委員会の開催状況	4
III	上大津地区全体の適正配置について	6
1	上大津地区小学校の現状と課題	6
	（１）上大津地区小学校の通常学級の児童数・学級数の推移及び将来の予測	6
	（２）上大津地区小学校の課題等	14
	（３）上大津地区全体の適正配置に向けた方策の協議、検討	14
2	上大津地区全体の適正配置の方針（中間提言時点）	15
3	上大津地区全体の適正配置の今後の進め方（案）	15
IV	上大津西小学校の問題解消に向けた暫定的な対応について	16
1	上大津西小学校の問題解消に向けた暫定的な方策シミュレーション	16
	（１）通学区域の見直し	16
	（２）隣接する学校との統合	18
2	アンケートによる意向調査	20
3	上大津西小学校の複式学級などの問題解消に向けた暫定的な対応の方針	21
	（１）方策	21
	（２）実施時期	21
4	上大津西小学校の問題解消に向けた暫定的な対応の今後の進め方	22
	（１）暫定的な統合に向けての児童に対するケア	22
	（２）通学支援	22
	（３）PTA 組織等の取り扱い	22
	（４）学校跡地利用	22
	（５）スケジュール	23
V	巻末資料	24
	上大津西小学校の暫定的な対応に関するアンケート調査結果	24

## I はじめに

全国的な少子化が進む中、土浦市でも児童生徒数が減少し、教育環境への影響が懸念されたことから、望ましい教育環境の維持・向上を図るため、平成25年2月に「土浦市立小学校適正配置実施計画」（以下、「実施計画」という。）が策定され、3地区6小学校（宍塚地区：宍塚小学校，新治地区：藤沢小学校・斗利出小学校・山ノ荘小学校，上大津地区：上大津西小学校・菅谷小学校）の対応が進められました。

この内、宍塚小学校においては、平成26年4月に土浦小学校に統合され、新治地区の3小学校については、平成30年4月に施設一体型の小中一貫校，新治学園義務教育学校として再編されました。

上大津地区につきましては、平成25年2月の実施計画策定後，同3月に対象校2校（上大津西小学校及び菅谷小学校）の保護者及び地域住民を対象とした説明会が開催されましたが，住宅地の造成や病院の開業などにより，一部で人口の増加が見込まれるなど，地域の変化を予測することが難しい状況となったことから，保護者や地域住民等との協議が一旦中断され，当該地区の人口や児童生徒数の推移などを注視することとなりました。

今般，上大津地区の状況がある程度見通せる状況になり，現在においても，上大津地区の小学校において，児童数減少を起因とする適正規模に満たない小規模校が複数校あるなどの課題が解決されておらず，この課題に対して，子供たちの教育環境を確保し，上大津地区全体の教育環境をよりよい方向に進めていくため，平成29年6月より保護者や地域住民等との協議が再開され，小学校区ごとに説明会（第1回：平成29年8月，第2回：平成30年6月）が開催されました。また，より具体的に協議，検討するために，平成29年11月に，学識経験者や上大津地区の地域住民，保護者，学校の代表者で構成する「土浦市上大津地区小学校適正配置検討委員会（以下，「検討委員会」という。）」が設置されました。

本検討委員会において，上大津地区小学校の適正配置について慎重な審議を重ねてまいりましたが，喫緊の課題である上大津西小学校の複式学級の解消を至急対応すべきとの判断から，上大津西小学校の暫定措置を含めた上大津地区小学校適正配置実施計画の中間提言を行うこととなったものです。

土浦市教育委員会では，この中間提言を踏まえ，上大津地区小学校の暫定的な適正配置の速やかな対応を進めるとともに，引き続き上大津地区の子供達にとってよりよい教育環境の整備とより一層の学校教育の充実に取り組まれるよう希望いたします。

なお，上大津地区全体の小学校の適正配置については，平成31年夏頃に土浦市教育委員会に提言を行う予定です。

土浦市上大津地区小学校適正配置検討委員会

## Ⅱ 住民説明会及び検討委員会について

### (1) 住民説明会の開催状況

ア 上大津地区小学校適正配置に関する現状等説明会（平成29年度実施）  
（小学校区ごとに保護者と地域住民で分けて開催）

＜開催日及び参加者数＞

	上大津西小学校		菅谷小学校		上大津東小学校		神立小学校		計
	開催日	参加者数	開催日	参加者数	開催日	参加者数	開催日	参加者数	参加者数
保護者	8/9	17名	8/10	12名	8/2	17名	8/3	3名	49名
地域住民	8/18	8名	8/23	7名	8/17	4名	8/24	10名	29名
計		25名		19名		21名		13名	78名

＜主な意見＞

	保護者	地域住民
上大津西小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早急に小規模校の解消をしてほしい。</li> <li>・上大津西小学校を残してほしい。</li> <li>・通学区域の見直しや調整区域の見直しを行った方が良いと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早急に小規模校の解消をしてほしい。</li> <li>・暫定的な通学区域の見直しをした方が良いと思う。</li> <li>・どこの学校と統合するのか気になる。</li> <li>・お金のかかる統合校新設は慎重に考えるべきである。</li> <li>・人口（児童）を増やす施策をしてほしい。</li> <li>・土地利用の面など、行政内の各担当部署の横の繋がりが無いように思える。</li> </ul>
菅谷小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菅谷小学校を残してほしい。</li> <li>・段階的な適正配置を行った方が良いと思う。</li> <li>・最終的にみんなが100%納得することは難しいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菅谷小学校を残してほしい。（学習環境を考慮して適正配置を検討してほしい）</li> <li>・上大津西小学校、菅谷小学校、上大津東小学校すべてを存続させてほしい。</li> </ul>
上大津東小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上大津東小学校は教室数が将来足りなくなる問題はあるが、現在でもグラウンドが手狭であるので対応してほしい。</li> <li>・暫定的な通学区域の見直しを行った方が良いと思う。</li> <li>・統合校は土浦第五中学校近くが良い。</li> <li>・20年先まで児童数を見通して検討すべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暫定的な通学区域の見直しをした方が良いと思う。</li> </ul>
神立小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神立小学校の保護者は、特に影響はないと感じているため、関心が薄い。</li> <li>・通学区域の見直しなどで、地域コミュニティを分離しないしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世代間の考えの違いが問題である。</li> <li>・子供目線で検討をしてほしい。</li> <li>・放課後児童クラブや幼稚園、保育所の充実により子育て世帯が増えると思う。</li> </ul>
共通の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上大津西小学校の対応は早急にした方が良い。</li> <li>・統合校新設を待っていたのでは遅い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な適正配置の案を示してほしい。</li> </ul>

イ 上大津地区小学校適正配置に関する説明会（平成30年度実施）  
（小学校区ごとに保護者と地域住民の合同で開催）

＜開催日及び参加者数＞

	上大津西小学校		菅谷小学校		上大津東小学校		神立小学校		計
	開催日	参加者数	開催日	参加者数	開催日	参加者数	開催日	参加者数	参加者数
保護者	6/20	12名	6/21	8名	6/26	4名	6/27	5名	29名
地域住民		12名		7名		2名		9名	30名
計		24名		15名		6名		14名	59名

＜主な意見＞

	小学校PTA	地域住民
上大津西小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の間では、統合は仕方がないといった意見が出ている。</li> <li>暫定的な対応として、菅谷小学校との統合が一番スムーズであると思う。</li> <li>保護者は、できるだけ早く、遅くても平成32年には統合してほしいと思っている。</li> <li>上大津西小学校区内にアンケートのような意向調査を行ってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供達は環境の変化が生じるため、子供達のことを最優先に考えて統合を実施してほしい。</li> <li>子供達の通学の安全確保を第一に考え、スクールバスは柔軟に対応してほしい。</li> <li>上大津西小学校区の意見を集約する機会を設けてほしい。</li> </ul>
菅谷小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>上大津西小学校の対応は早急にすべきである。</li> <li>菅谷小学校は敷地が広く、学習環境の面も良いので、統合先として利用してほしい。</li> <li>土浦第五中学校付近に神立小学校を除く3校の統合校を作してほしい。</li> <li>保護者の負担や子供達の経験といった点で、人数の多い学校の方が教育環境としては望ましい。</li> <li>子供がいる保護者の意見を優先してほしい。</li> <li>もっと早く新設校を作してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供達の交友関係も考慮し、通学区域は常磐線を跨がない方がいい。</li> <li>学校施設や教育環境の面から、統合校の場所は菅谷小学校としてほしい。</li> <li>スクールバス対象者数を考慮し、新設校の場所は土浦第五中学校付近がよい。</li> <li>大事なのは今の子供達であり、保護者のニーズをよく汲み取ってほしい。</li> </ul>
上大津東小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>上大津西小学校の対応は早急にすべきである。</li> <li>上大津東小学校は手狭で施設も古く、子供の学習環境としてあまりよくないため、改善してほしい。</li> <li>今の子供達も利用できるようもっと早く新設校を作してほしい。</li> <li>保護者に当事者意識を持ってもらえるような周知方法を検討すべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクールバスの利用者数を考慮すると、統合校の場所は土浦第五中学校付近がよいと思う。</li> <li>統合に当たっては、児童数だけでなく、運動場や駐車場などの学校利用面も考慮して検討してほしい。</li> </ul>
神立小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>神立小学校を除いた3校で検討してほしい。</li> <li>神立地区の通学時間帯は大変渋滞しているため、スクールバス通学は現実的でないと思う。</li> <li>子供達が通学で常磐線を横断することは危険である。</li> <li>小中一貫教育については、小学校と中学校の場所が離れていてもいいと思う。</li> <li>もっとみんなが関心を持つような周知の仕方をすべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上大津西小学校の対応は早急にすべきである。</li> <li>新治学園のような施設一体型の小中一貫校にするのが良いと思う。</li> <li>神立小学校と他3小学校で分け、上大津地区に義務教育学校を2校作ってほしい。</li> <li>保護者が統合は必要と感じるように目的をはっきりさせるべきである。</li> </ul>

## (2) 土浦市上大津地区小学校適正配置検討委員会の開催状況

### ア 第1回検討委員会

＜開催日＞ 平成29年11月17日

＜議事内容＞

- ・委員長及び副委員長選出
- ・適正配置検討委員会の設置の趣旨について
- ・適正配置実施計画策定までの日程等について
- ・保護者及び地域住民説明会の実施結果について

### イ 第2回検討委員会

＜開催日＞ 平成30年2月16日

＜議事内容＞

- ・適正配置等の基本方針について
- ・具体的な適正配置シミュレーションについて

＜主な意見＞

- ・児童の通学時の安全確保上、通学路が常磐線を横断することは望ましくないと考える。
- ・神立小学校を除いた3校での統合がいいのではないかと考える。
- ・統合校を新設するのであれば、土浦第五中学校付近がよいと考える。
- ・上大津西小学校の複式学級は早期に解消する必要があるため、まず菅谷小学校と統合させるなど、段階的な対応をしてはどうかと考える。

### ウ 第3回検討委員会

＜開催日＞ 平成30年7月31日

＜議事内容＞

- ・上大津地区小学校の適正配置について

＜主な意見＞

- ・今後も適正な教育環境維持が可能な神立小学校を除き、上大津東小学校、上大津西小学校、菅谷小学校の諸問題を解消するための適正配置を行うこととするのがよいと考える。  
なお、新たな学校の位置や形式については継続して協議を進めることとする。
- ・上大津地区全体の適正配置を進めるにあたり、暫定的に上大津西小学校を菅谷小学校に平成31年度末までに統合することで、複式学級を解消し、早急に子供達の健やかな教育環境を整えるべきと考える。なお、上大津西小学校の児童はスクールバス通学とし、通学時の安全確保及び負担軽減を図る必要がある。
- ・上大津西小学校の暫定的な対応を急いで行うのではなく、まずは上大津地区全体の適正配置の方向性を早期に示した方がよいと考える。
- ・通学区域の見直し（おおつ野地区）や学年により学校を変える（分校方式）などの方策も有効であると考え。
- ・再編した場合の学校運営に係るランニングコストなどについても、もっと検討すべきである。

エ 第4回検討委員会

＜開催日＞ 平成30年10月31日

＜議事内容＞

- ・ 上大津地区全体の適正配置の方針について
- ・ 上大津西小学校の問題解消に向けた暫定的な対応の方針について
- ・ 上大津地区小学校適正配置実施計画＜中間提言＞について

＜主な意見＞

- ・ 今後も適正な教育環境維持が可能な神立小学校を除き，上大津東小学校，上大津西小学校，菅谷小学校の諸問題を解消するための適正配置を行うこととする。
- ・ 3小学校の統合先を菅谷小学校とした場合，校庭が広く，用地買収の必要がないが，スクールバスの面で課題が大きいと考える。
- ・ 3小学校の統合先は，土浦第五中学校付近又は土浦第五中学校隣接とするのがよいと考える。
- ・ 3小学校の統合先の具体案については，現時点では上大津東小学校，土浦第五中学校付近，土浦第五中学校隣接（土浦第五中学校の施設の一部を共用とする）の3案とし，引き続き検討を進めることとする。
- ・ 上大津地区全体の適正配置を進めるにあたり，暫定的に上大津西小学校を菅谷小学校に平成31年度末までに統合することで，複式学級を解消し，早急に子供達の健やかな教育環境を整えることとする。
- ・ 暫定的な統合にかかるスクールバスによる通学支援については，菅谷小学校から2km以上の方だけを対象とせず，上大津西小学校の児童は全員スクールバスの対象としてほしい。

### Ⅲ 上大津地区全体の適正配置について

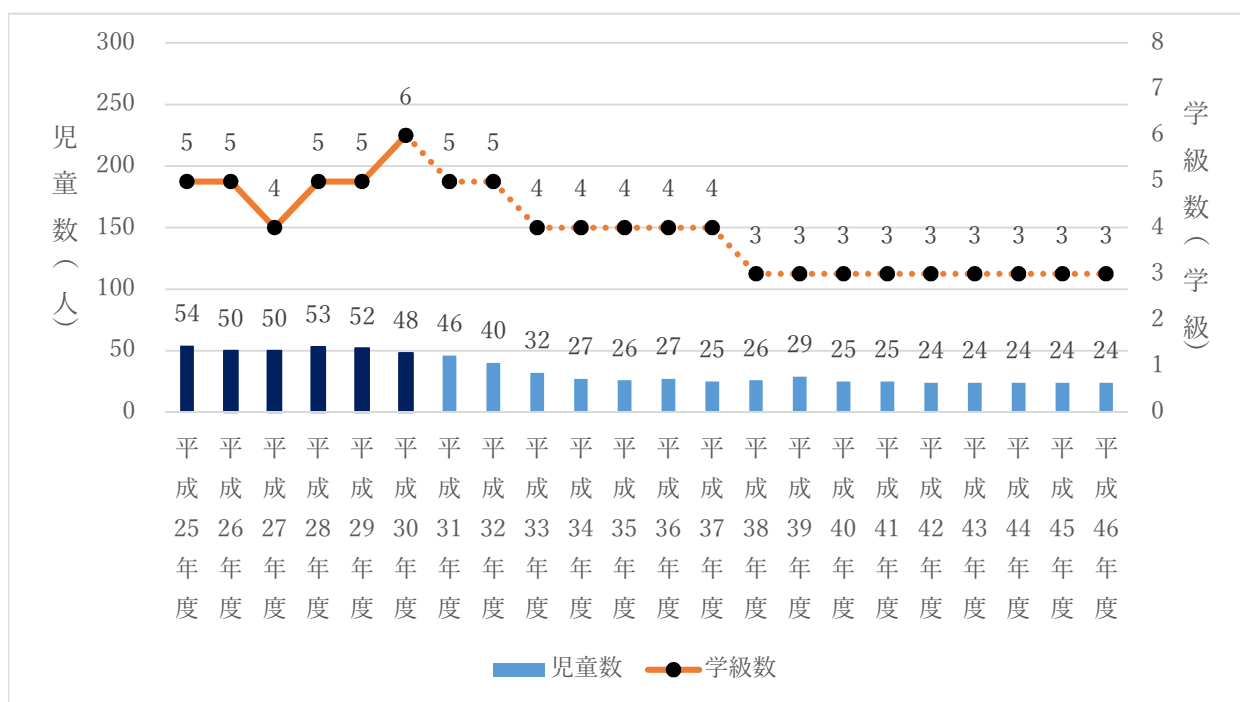
#### 1 上大津地区小学校の現状と課題

##### (1) 上大津地区小学校の通常学級の児童数・学級数の推移及び将来の予測

###### ア 上大津西小学校

上大津西小学校の通常学級は、平成30年5月1日現在で、児童数48人、学級数6学級となっております。過去5年間の児童数の推移は、平成25年の54人から約11%減少しており、今後の将来予測については、児童数が30人を割り込み、現在の約60%程度となるなど、大幅な減少が予想され、市の基本方針で定めた適正規模に満たない小規模校の状態が続きます。また、平成30年度に一度解消した複式学級も、平成31年度には再度設置され、平成33年度以降は複式学級が2学級設置されることが予想されます。

##### ■上大津西小学校の通常学級の児童数及び学級数の推移と将来の予測（推計）





		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	計
平成 25 年度	児童数 学級数	7 (1)	8 (1) 複式学級	8 (1)	10 (1)	8 (1)	13 (1)	54 (5)
平成 26 年度	児童数 学級数	9 (1)	7 (1) 複式学級	8 (1)	8 (1)	10 (1)	8 (1)	50 (5)
平成 27 年度	児童数 学級数	8 (1)	9 (1) 複式学級	7 (1)	8 (1) 複式学級	8 (1)	10 (1)	50 (4)
平成 28 年度	児童数 学級数	12 (1)	8 (1)	9 (1)	8 (1) 複式学級	8 (1)	8 (1)	53 (5)
平成 29 年度	児童数 学級数	5 (1)	13 (1)	9 (1)	9 (1)	8 (1) 複式学級	8 (1)	52 (5)
平成 30 年度	児童数 学級数	4 (1)	5 (1)	13 (1)	9 (1)	9 (1)	8 (1)	48 (6)
平成 31 年度※ <sup>1</sup>	児童数 学級数	6 (1)	4 (1) 複式学級	5 (1)	13 (1)	9 (1)	9 (1)	46 (5)
平成 32 年度※ <sup>1</sup>	児童数 学級数	3 (1)	6 (1) 複式学級	4 (1)	5 (1)	13 (1)	9 (1)	40 (5)
平成 33 年度※ <sup>1</sup>	児童数 学級数	1 (1) 複式学級	3 (1)	6 (1) 複式学級	4 (1)	5 (1)	13 (1)	32 (4)
平成 34 年度※ <sup>1</sup>	児童数 学級数	8 (1)	1 (1) 複式学級	3 (1)	6 (1) 複式学級	4 (1)	5 (1)	27 (4)
平成 35 年度※ <sup>1</sup>	児童数 学級数	4 (1)	8 (1) 複式学級	1 (1)	3 (1) 複式学級	6 (1)	4 (1)	26 (4)
平成 36 年度※ <sup>1</sup>	児童数 学級数	5 (1)	4 (1) 複式学級	8 (1)	1 (1) 複式学級	3 (1)	6 (1)	27 (4)
平成 37 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	4 (1)	5 (1) 複式学級	4 (1)	8 (1)	1 (1) 複式学級	3 (1)	25 (4)
平成 38 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	4 (1) 複式学級	4 (1)	5 (1) 複式学級	4 (1)	8 (1) 複式学級	1 (1)	26 (3)
平成 39 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	4 (1) 複式学級	4 (1)	4 (1) 複式学級	5 (1)	4 (1) 複式学級	8 (1)	29 (3)
平成 40 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	4 (1) 複式学級	4 (1)	4 (1) 複式学級	4 (1)	5 (1) 複式学級	4 (1)	25 (3)
平成 41 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	4 (1) 複式学級	4 (1)	4 (1) 複式学級	4 (1)	4 (1) 複式学級	5 (1)	25 (3)
平成 42 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	4 (1) 複式学級	4 (1)	4 (1) 複式学級	4 (1)	4 (1) 複式学級	4 (1)	24 (3)
平成 43 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	4 (1) 複式学級	4 (1)	4 (1) 複式学級	4 (1)	4 (1) 複式学級	4 (1)	24 (3)
平成 44 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	4 (1) 複式学級	4 (1)	4 (1) 複式学級	4 (1)	4 (1) 複式学級	4 (1)	24 (3)
平成 45 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	4 (1) 複式学級	4 (1)	4 (1) 複式学級	4 (1)	4 (1) 複式学級	4 (1)	24 (3)
平成 46 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	4 (1) 複式学級	4 (1)	4 (1) 複式学級	4 (1)	4 (1) 複式学級	4 (1)	24 (3)

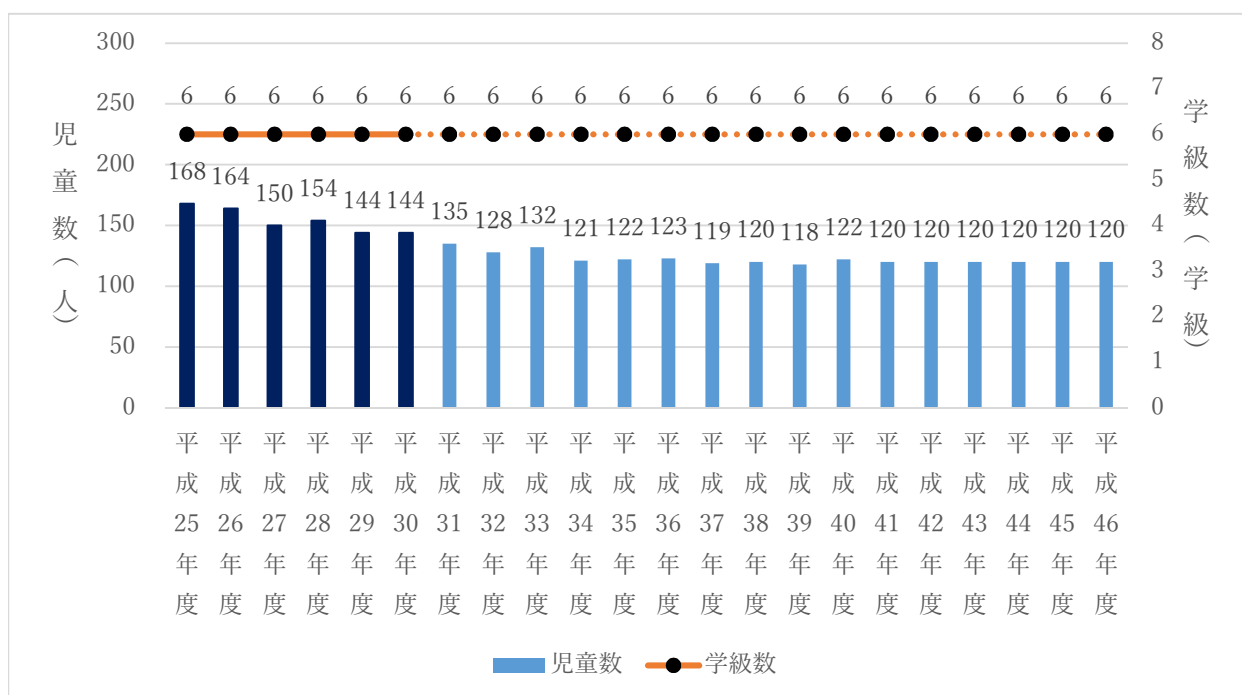
※ 1 : 平成 3 1 年度から平成 3 6 年度までの新 1 年生は、平成 3 0 年 4 月 1 日現在の住民基本台帳により算出しています。

※ 2 : 平成 3 7 年度以降の新 1 年生は、平成 3 0 年度から当該年度の前年度までの新 1 年生の児童数の平均値により算出しています。

## イ 菅谷小学校

菅谷小学校の通常学級は、平成30年5月1日現在で、児童数144人、学級数6学級となっております。過去5年間の児童数の推移は平成25年の168人から約14%減少していますが、今後の将来予測については、120人前後の横ばいの状況で推移することが予想され、市の基本方針で定めた適正規模に満たない小規模校の状態が続きます。

### ■菅谷小学校の通常学級の児童数及び学級数の推移と将来の予測（推計）



		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	計
平成 25 年度	児童数 学級数	30 (1)	25 (1)	30 (1)	18 (1)	28 (1)	37 (1)	168 (6)
平成 26 年度	児童数 学級数	33 (1)	30 (1)	26 (1)	30 (1)	17 (1)	28 (1)	164 (6)
平成 27 年度	児童数 学級数	19 (1)	30 (1)	31 (1)	24 (1)	27 (1)	19 (1)	150 (6)
平成 28 年度	児童数 学級数	26 (1)	19 (1)	28 (1)	32 (1)	22 (1)	27 (1)	154 (6)
平成 29 年度	児童数 学級数	22 (1)	26 (1)	18 (1)	25 (1)	33 (1)	20 (1)	144 (6)
平成 30 年度	児童数 学級数	19 (1)	21 (1)	27 (1)	18 (1)	26 (1)	33 (1)	144 (6)
平成 31 年度※ <sup>1</sup>	児童数 学級数	24 (1)	19 (1)	21 (1)	27 (1)	18 (1)	26 (1)	135 (6)
平成 32 年度※ <sup>1</sup>	児童数 学級数	19 (1)	24 (1)	19 (1)	21 (1)	27 (1)	18 (1)	128 (6)
平成 33 年度※ <sup>1</sup>	児童数 学級数	22 (1)	19 (1)	24 (1)	19 (1)	21 (1)	27 (1)	132 (6)
平成 34 年度※ <sup>1</sup>	児童数 学級数	16 (1)	22 (1)	19 (1)	24 (1)	19 (1)	21 (1)	121 (6)
平成 35 年度※ <sup>1</sup>	児童数 学級数	22 (1)	16 (1)	22 (1)	19 (1)	24 (1)	19 (1)	122 (6)
平成 36 年度※ <sup>1</sup>	児童数 学級数	20 (1)	22 (1)	16 (1)	22 (1)	19 (1)	24 (1)	123 (6)
平成 37 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	20 (1)	20 (1)	22 (1)	16 (1)	22 (1)	19 (1)	119 (6)
平成 38 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	20 (1)	20 (1)	20 (1)	22 (1)	16 (1)	22 (1)	120 (6)
平成 39 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	22 (1)	16 (1)	118 (6)
平成 40 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	22 (1)	122 (6)
平成 41 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	120 (6)
平成 42 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	120 (6)
平成 43 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	120 (6)
平成 44 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	120 (6)
平成 45 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	120 (6)
平成 46 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	120 (6)

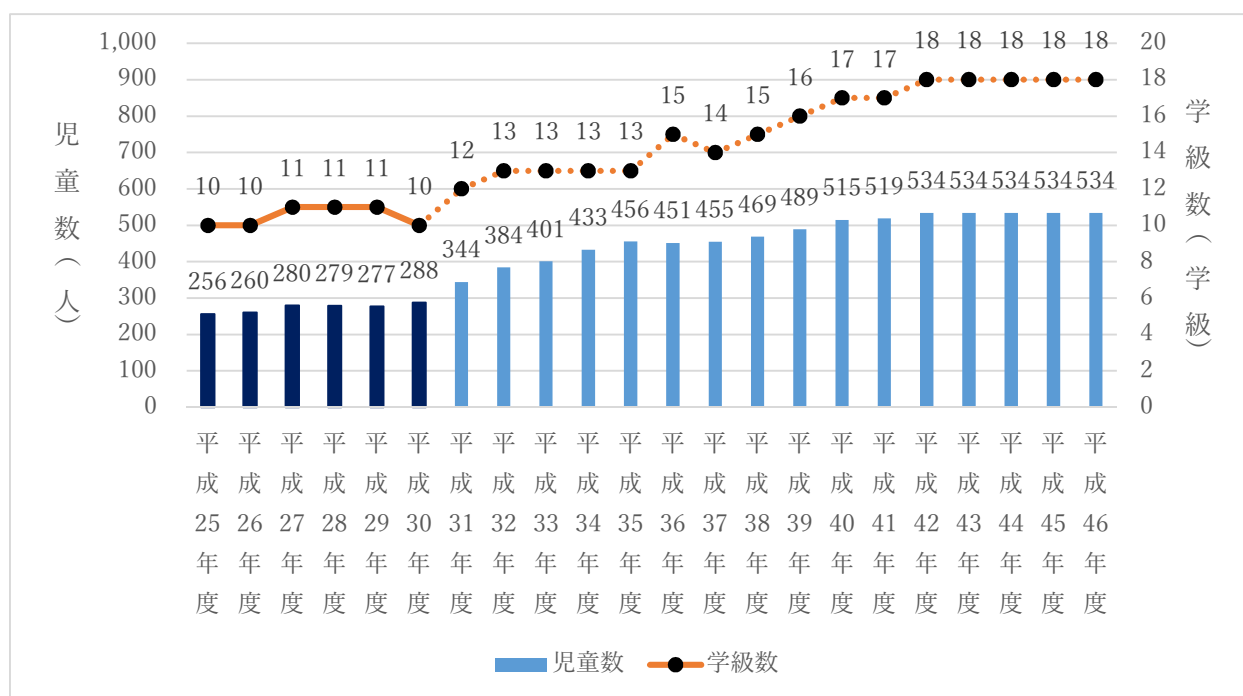
※ 1 : 平成 3 1 年度から平成 3 6 年度までの新 1 年生は、平成 3 0 年 4 月 1 日現在の住民基本台帳により算出しています。

※ 2 : 平成 3 7 年度以降の新 1 年生は、平成 3 0 年度から当該年度の前年度までの新 1 年生の児童数の平均値により算出しています。

## ウ 上大津東小学校

上大津東小学校の通常学級は、平成30年5月1日現在で、児童数288人、学級数10学級となっております。過去5年間の児童数の推移は、平成25年の256人から約12%増加していますが、平成30年5月1日現在では市の基本方針に定めた適正規模に満たない小規模校となっております。今後の将来予測については、地域の開発や住宅地造成などにより児童数の増加傾向と、それに伴う学級数の増加傾向が見込まれており、その状況が続くと平成36年度には、学校施設の許容能力が限界になることが予想されます。

### ■上大津東小学校の通常学級の児童数及び学級数の推移と将来の予測（推計）



		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	計
平成 25 年度	児童数 学級数	35 (1)	52 (2)	45 (2)	44 (2)	39 (1)	41 (2)	256 (10)
平成 26 年度	児童数 学級数	43 (2)	35 (1)	53 (2)	47 (2)	43 (2)	39 (1)	260 (10)
平成 27 年度	児童数 学級数	57 (2)	43 (2)	35 (1)	54 (2)	48 (2)	43 (2)	280 (11)
平成 28 年度	児童数 学級数	39 (2)	60 (2)	42 (2)	35 (1)	55 (2)	48 (2)	279 (10)
平成 29 年度	児童数 学級数	51 (2)	38 (2)	58 (2)	42 (2)	35 (1)	53 (2)	277 (10)
平成 30 年度	児童数 学級数	67 (2)	50 (2)	37 (1)	58 (2)	41 (2)	35 (1)	288 (10)
平成 31 年度※ <sup>1</sup> ※ <sup>3</sup>	児童数 学級数	76 (3)	70 (2)	53 (2)	40 (1)	61 (2)	44 (2)	344 (12)
平成 32 年度※ <sup>1</sup> ※ <sup>3</sup>	児童数 学級数	69 (2)	79 (3)	73 (2)	56 (2)	43 (2)	64 (2)	384 (13)
平成 33 年度※ <sup>1</sup> ※ <sup>3</sup>	児童数 学級数	67 (2)	70 (2)	83 (3)	76 (2)	59 (2)	46 (2)	401 (13)
平成 34 年度※ <sup>1</sup> ※ <sup>3</sup>	児童数 学級数	63 (2)	69 (2)	75 (2)	85 (3)	79 (2)	62 (2)	433 (13)
平成 35 年度※ <sup>1</sup> ※ <sup>3</sup>	児童数 学級数	70 (2)	66 (2)	72 (2)	78 (2)	90 (3)	80 (2)	456 (13)
平成 36 年度※ <sup>1</sup> ※ <sup>3</sup>	児童数 学級数	62 (2)	73 (3)	69 (2)	75 (2)	81 (3)	91 (3)	451 (15)
平成 37 年度※ <sup>2</sup> ※ <sup>3</sup>	児童数 学級数	80 (3)	65 (2)	76 (2)	72 (2)	78 (2)	84 (3)	455 (14)
平成 38 年度※ <sup>2</sup> ※ <sup>3</sup>	児童数 学級数	83 (3)	83 (3)	68 (2)	79 (2)	75 (2)	81 (3)	469 (15)
平成 39 年度※ <sup>2</sup> ※ <sup>3</sup>	児童数 学級数	86 (3)	86 (3)	86 (3)	71 (2)	82 (3)	78 (2)	489 (16)
平成 40 年度※ <sup>2</sup> ※ <sup>3</sup>	児童数 学級数	89 (3)	89 (3)	89 (3)	89 (3)	74 (2)	85 (3)	515 (17)
平成 41 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	89 (3)	89 (3)	89 (3)	89 (3)	89 (3)	74 (2)	519 (17)
平成 42 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	89 (3)	89 (3)	89 (3)	89 (3)	89 (3)	89 (3)	534 (18)
平成 43 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	89 (3)	89 (3)	89 (3)	89 (3)	89 (3)	89 (3)	534 (18)
平成 44 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	89 (3)	89 (3)	89 (3)	89 (3)	89 (3)	89 (3)	534 (18)
平成 45 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	89 (3)	89 (3)	89 (3)	89 (3)	89 (3)	89 (3)	534 (18)
平成 46 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	89 (3)	89 (3)	89 (3)	89 (3)	89 (3)	89 (3)	534 (18)

※ 1 : 平成 3 1 年度から平成 3 6 年度までの新 1 年生は、平成 3 0 年 4 月 1 日現在の住民基本台帳により算出しています。

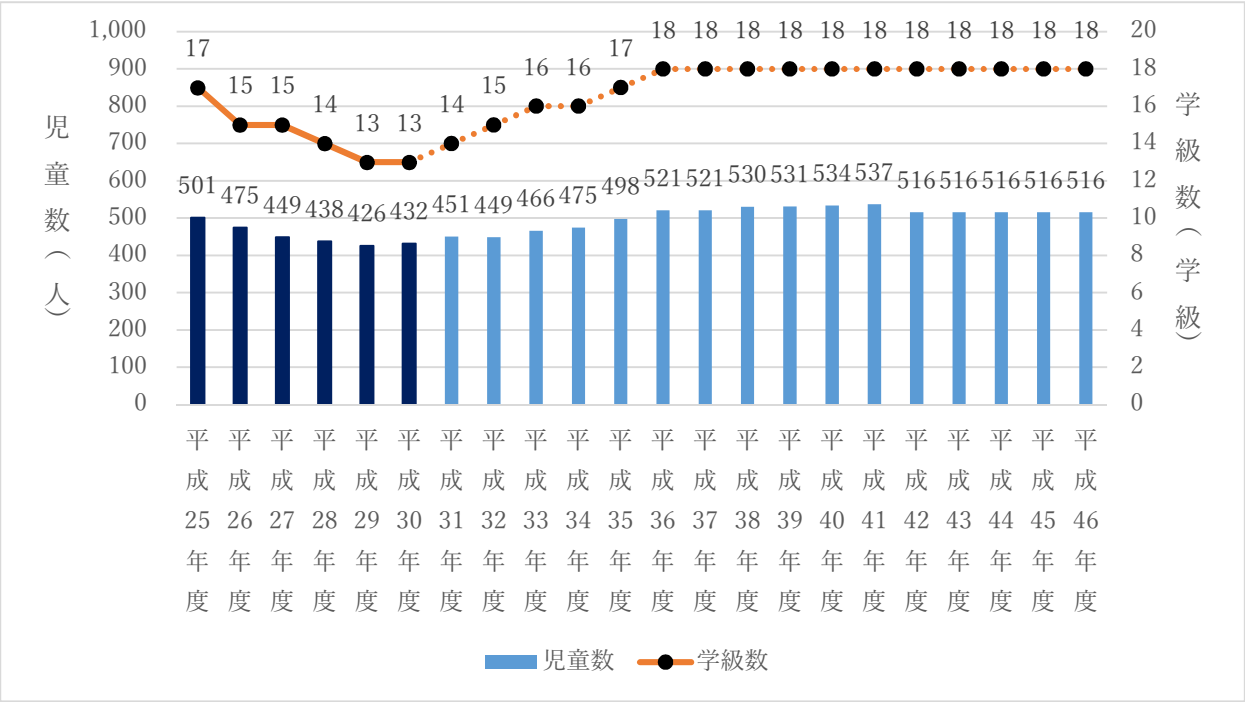
※ 2 : 平成 3 7 年度以降の新 1 年生は、平成 3 0 年度から当該年度の前年度までの新 1 年生の児童数の平均値により算出しています。

※ 3 : 平成 3 1 年度から平成 4 0 年度までのおおつ野地区の児童生徒は、平成 2 6 年から平成 2 9 年までのこの地区の人口推移より、各学年毎年 3 人ずつ増加すると想定して算出しています。

エ 神立小学校

神立小学校の通常学級は、平成30年5月1日現在で、児童数432人、学級数13学級となっております。過去5年間の児童数の推移は平成25年の501人から約14%減少していますが、今後の将来予測では再び500人程度まで増加することが予想されており、市の基本方針で定めた適正規模を満たす学校となっております。

■神立小学校の通常学級の児童数及び学級数の推移と将来の予測（推計）



		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	計
平成 25 年度	児童数 学級数	73 (3)	83 (3)	74 (2)	88 (3)	91 (3)	92 (3)	501 (17)
平成 26 年度	児童数 学級数	88 (3)	69 (2)	79 (2)	66 (2)	84 (3)	89 (3)	475 (15)
平成 27 年度	児童数 学級数	76 (3)	80 (3)	69 (2)	77 (2)	64 (2)	83 (3)	449 (15)
平成 28 年度	児童数 学級数	78 (3)	74 (3)	76 (2)	68 (2)	74 (2)	68 (2)	438 (14)
平成 29 年度	児童数 学級数	61 (2)	73 (3)	72 (2)	77 (2)	67 (2)	76 (2)	426 (13)
平成 30 年度	児童数 学級数	84 (3)	60 (2)	74 (2)	68 (2)	79 (2)	67 (2)	432 (13)
平成 31 年度※ <sup>1</sup>	児童数 学級数	86 (3)	84 (3)	60 (2)	74 (2)	68 (2)	79 (2)	451 (14)
平成 32 年度※ <sup>1</sup>	児童数 学級数	77 (3)	86 (3)	84 (3)	60 (2)	74 (2)	68 (2)	449 (15)
平成 33 年度※ <sup>1</sup>	児童数 学級数	85 (3)	77 (3)	86 (3)	84 (3)	60 (2)	74 (2)	466 (16)
平成 34 年度※ <sup>1</sup>	児童数 学級数	83 (3)	85 (3)	77 (2)	86 (3)	84 (3)	60 (2)	475 (16)
平成 35 年度※ <sup>1</sup>	児童数 学級数	83 (3)	83 (3)	85 (3)	77 (2)	86 (3)	84 (3)	498 (17)
平成 36 年度※ <sup>1</sup>	児童数 学級数	107 (4)	83 (3)	83 (3)	85 (3)	77 (2)	86 (3)	521 (18)
平成 37 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	86 (3)	107 (4)	83 (3)	83 (3)	85 (3)	77 (2)	521 (18)
平成 38 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	86 (3)	86 (3)	107 (3)	83 (3)	83 (3)	85 (3)	530 (18)
平成 39 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	86 (3)	86 (3)	86 (3)	107 (3)	83 (3)	83 (3)	531 (18)
平成 40 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	86 (3)	86 (3)	86 (3)	86 (3)	107 (3)	83 (3)	534 (18)
平成 41 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	86 (3)	86 (3)	86 (3)	86 (3)	86 (3)	107 (3)	537 (18)
平成 42 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	86 (3)	86 (3)	86 (3)	86 (3)	86 (3)	86 (3)	516 (18)
平成 43 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	86 (3)	86 (3)	86 (3)	86 (3)	86 (3)	86 (3)	516 (18)
平成 44 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	86 (3)	86 (3)	86 (3)	86 (3)	86 (3)	86 (3)	516 (18)
平成 45 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	86 (3)	86 (3)	86 (3)	86 (3)	86 (3)	86 (3)	516 (18)
平成 46 年度※ <sup>2</sup>	児童数 学級数	86 (3)	86 (3)	86 (3)	86 (3)	86 (3)	86 (3)	516 (18)

※ 1 : 平成 3 1 年度から平成 3 6 年度までの新 1 年生は、平成 3 0 年 4 月 1 日現在の住民基本台帳により算出しています。

※ 2 : 平成 3 7 年度以降の新 1 年生は、平成 3 0 年度から当該年度の前年度までの新 1 年生の児童数の平均値により算出しています。

## （２）上大津地区小学校の課題等

上大津地区小学校の現状及び将来の予測を踏まえ、各小学校の課題等を整理すると、以下のとおりとなります。

### ア 上大津西小学校

- ・市の基本方針で定めた適正規模に満たない小規模校のままであるため、子供達に必要な教育環境が整わない状態が続くこととなります。
- ・さらに、今後の児童数は、３０人を割り込むことが予想され、複式学級が増えることが予想されます。
- ・１学年１学級以下でクラス替えが出来ないため、役割や人間関係が固定化することが懸念されます。
- ・運動会や学習発表会などの学校行事において子供達の幅広い活動が困難であり、また、PTA活動においては、円滑な運営が図りづらくなることが懸念されます。

### イ 菅谷小学校

- ・市の基本方針で定めた適正規模に満たない小規模校のままであるため、子供達に必要な教育環境が整わない状態が続くこととなります。
- ・今後の児童数は、１３０人前後の横ばいの状況で推移することが予想されます。
- ・１学年１学級でクラス替えが出来ないため、役割や人間関係が固定化することが懸念されます。

### ウ 上大津東小学校

- ・平成３０年度時点では、市の基本方針で定めた適正規模に満たない小規模校となっていますが、今後、地域の開発や住宅地造成などにより、児童数及び学級数の増加傾向が見込まれます。
- ・その状況が続いた場合、平成３６年度には学校施設の許容能力が限界となることが予想されます。

### エ 神立小学校

- ・市の基本方針で定めた適正規模を満たす学校となっています。
- ・今後の児童数は、再び５００人程度まで増加することが予想されますが、適正規模を維持できる模様です。

## （３）上大津地区全体の適正配置に向けた方策の協議、検討

上記の課題等を踏まえ、本検討委員会では、上大津地区全体の子供達を取り巻く教育環境のより一層の充実を図るため、平成２３年２月に土浦市で策定した「土浦市立小学校及び中学校適正配置等基本方針」に基づき、適正配置に向けた方策（隣接する学校との統合、学校の再編成・新設、通学区域の見直し）による様々な具体的なシミュレーションを行い、協議、検討をいたしました。



## 2 上大津地区全体の適正配置の方針（中間提言時点）

上大津地区全体の適正配置に向けた方策の協議、検討の結果、4小学校での統合が過大規模であることや、常磐線の横断が子供達の通学の際などの安全確保上望ましくないことなどから、今後も適正な教育環境維持が可能な神立小学校を除き、上大津東小学校、上大津西小学校、菅谷小学校の諸問題を解消するための適正配置を行います。

具体的な方策については、平成31年夏頃までに決定することを目標に今後引き続き検討を進めてまいります。

なお、現時点では、子供達を取り巻く教育環境のより一層の充実や通学にかかる負担、施設整備にかかる経費などの理由により、以下の3つの案が候補として挙がっております。

- ・ 神立小学校を除く3小学校を統合し、その統合先を上大津東小学校とする。
- ・ 神立小学校を除く3小学校を統合し、その統合先を土浦第五中学校付近とする。
- ・ 神立小学校を除く3小学校を統合し、その統合先を土浦第五中学校隣接とする。  
(ただし、土浦第五中学校の施設の一部を共用とする)

### ■神立小学校を除く3小学校統合後の通常学級の児童数及び学級数の状況（平成36年度推計）

神立小学校を除く3小学校の統合後の通常学級の児童数及び学級数の予測（平成36年度）では、児童数601人、学級数19学級となり、市の基本方針で定めた適正規模を満たすこととなります。

		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	計
上大津西小学校	児童数 学級数	5 (1)	4 (1)複式学級	8	1 (1)	3 (1)複式学級	6	27 (5)
菅谷小学校	児童数 学級数	20 (1)	22 (1)	16 (1)	22 (1)	19 (1)	24 (1)	123 (6)
上大津東小学校	児童数 学級数	62 (2)	73 (3)	69 (2)	75 (2)	81 (3)	91 (3)	451 (15)
統合後	児童数 学級数	87 (3)	99 (3)	93 (3)	98 (3)	103 (3)	121 (4)	601 (19)

## 3 上大津地区全体の適正配置の今後の進め方（案）

平成31年6月 上大津地区全体の適正配置の方向性決定（最終提言）

平成32年2月 上大津地区小学校適正配置実施計画策定

平成32年4月 （仮称）新たな上大津地区小学校開校準備協議会の発足

平成36年4月 上大津地区小学校適正配置の実施（目標）

## Ⅳ 上大津西小学校の問題解消に向けた暫定的な対応について

上大津西小学校の保護者や地域住民などから、上大津西小学校の問題を解消する早急な対応が求められているため、上大津地区全体の適正配置の方針を踏まえ、上大津西小学校の複式学級などの問題を解消するための方策を暫定的に実施することとします。

なお、実施に当たっては、適正配置に向けた方策に基づいて検討いたしました。

### 1 上大津西小学校の問題解消に向けた暫定的な方策シミュレーション

上大津西小学校の問題を解消するための暫定的な方策としては、以下の方策が考えられます。

#### (1) 通学区域の見直し

**案1** 上大津東小学校区の一部（おおつ野 7，8 丁目）を上大津西学校区とする。



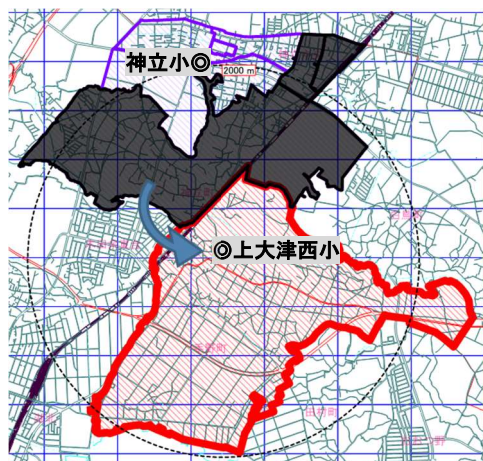
■方策実施前後の通常学級児童数及び学級数の状況（平成32年度推計）

方策実施前			方策実施後		
		計			計
上大津西小学校	児童数 学級数	40 (5)	上大津西小学校＋ 上大津東小学校の一部	児童数 学級数	205 (8)
上大津東小学校	児童数 学級数	348 (12)	上大津東小学校 (見直しをしていない地域)	児童数 学級数	183 (7)

＜考察＞

- ・通学区域の見直しを行っても、一部の学年では単学級となり、上大津西小学校及び上大津東小学校ともに市の基本方針で定めた適正規模を満たしません。
- ・現在の上大津西小学校の校舎では、通常学級の教室数を7学級までしか確保できないため、校舎の増築を要します。
- ・通学区域が見直しされた児童の上大津西小学校までの通学距離は、直線距離で最長約2.9kmとなるため、スクールバスなどの通学支援が必要となります。

案2 神立小学校区の一部（神立町，神立中央一，二丁目）を上大津西小学校区とする。



■方策実施前後の通常学級児童数及び学級数の状況（平成32年度推計）

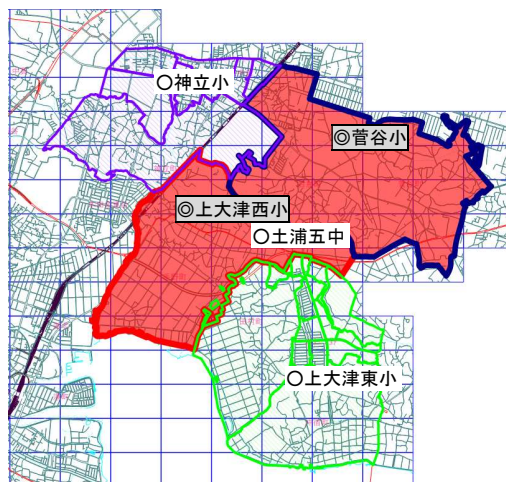
方策実施前			⇒	方策実施後		
		計				計
上大津西小学校	児童数 学級数	40 (5)		上大津西小学校＋ 神立小学校の一部	児童数 学級数	254 (10)
神立小学校	児童数 学級数	449 (15)		神立小学校 (見直しをしていない地域)	児童数 学級数	235 (9)

＜考察＞

- ・通学区域の見直しを行っても，一部の学年では単学級となり，上大津西小学校及び神立小学校とも市の基本方針で定めた適正規模を満たしません。
- ・現在の上大津西小学校の校舎では，通常学級の教室数を7学級までしか確保できないため，校舎の増築を要します。
- ・通学区域が見直しされた児童の上大津西小学校までの通学距離は，直線距離で最長約2.7kmとなるため，スクールバスなどの通学支援が必要となります。
- ・上大津西小学校の通学区域が常磐線をまたぐため，通学路の安全対策が必要となります。

## (2) 隣接する学校との統合

**案1** 菅谷小学校と上大津西小学校を統合する。



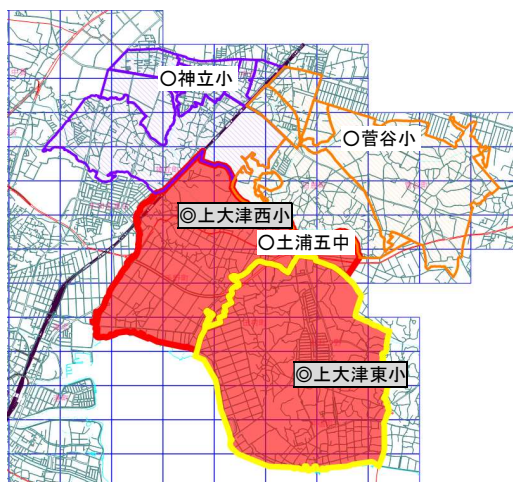
### ■方策実施前後の通常学級児童数及び学級数の状況（平成32年度推計）

方策実施前		計	⇒	方策実施後		計
上大津西小学校	児童数 学級数	40 (5)		統合校	児童数	168
菅谷小学校	児童数 学級数	128 (6)			学級数	(6)

#### < 考察 >

- ・各学年1学級であり、市の基本方針で定めた適正規模を満たしませんが、上大津西小学校の複式学級は解消されます。
- ・統合先は、上大津西小学校と菅谷小学校のどちらの場合でも増築は要しません。
- ・統合先がどちらの場合でも、通学距離が直線距離で4km以上となる区域が発生するため、スクールバスなどの通学支援が必要となります。

**案2** 上大津東小学校と上大津西小学校を統合する。



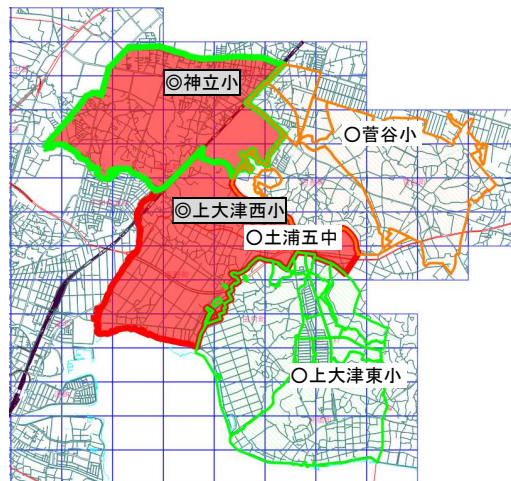


方策実施前			方策実施後		
		計			計
上大津西小学校	児童数 学級数	40 (5)	⇒	統合校	児童数 424
上大津東小学校	児童数 学級数	384 (13)			学級数 (14)

< 考察 >

- ・市の基本方針で定めた適正規模を満たします。
- ・統合先は、上大津西小学校と上大津東小学校のどちらの場合でも増築を要します。
- ・統合先の学校が上大津東小学校の場合には、通学距離が直線距離で 3km 以上となる区域が発生し、上大津西小学校の場合には、直線距離で 4km 以上となる区域が発生するため、統合先がどちらの場合でもスクールバスなどの通学支援が必要となります。

**案 3** 神立小学校と上大津西小学校を統合する。



■方策実施前後の通常学級児童数及び学級数の状況（平成 32 年度推計）

方策実施前			方策実施後		
		計			計
上大津西小学校	児童数 学級数	40 (5)	⇒	統合校	児童数 489
神立小学校	児童数 学級数	449 (15)			学級数 (16)

< 考察 >

- ・市の基本方針で定めた適正規模を満たします。
- ・統合先の学校が上大津西小学校の場合、校舎の増築を要しますが、神立小学校であれば増築は要しません。
- ・統合校先の学校が上大津西小学校の場合、通学距離が直線距離で 2km 以上となる区域が発生し、神立小学校の場合には直線距離で 3km 以上となる区域が発生するため、統合先がどちらの場合でもスクールバスなどの通学支援が必要となります。
- ・通学区域が常磐線をまたぐため、通学路の安全対策が必要となります。

## 2 アンケートによる意向調査

### <調査の趣旨>

上大津西小学校の子供達にとってよりよい教育環境の整備と学校教育の充実を早期に図るため、上大津西小学校の保護者及び上大津西小学校区の地域住民の意向をアンケート調査により把握し、土浦市上大津地区小学校適正配置検討委員会において、上大津西小学校の今後の方向性を検討するための基礎資料とします。

### <調査対象>

- ・上大津西小学校の保護者 : 33世帯
  - ・上大津西小学校区の地域住民 : 383世帯
- 合計 : 416世帯

### <実施方法>

郵送によりアンケート用紙を配布，回収（記名あり）

### <実施期間>

平成30年9月22日から平成30年10月5日まで

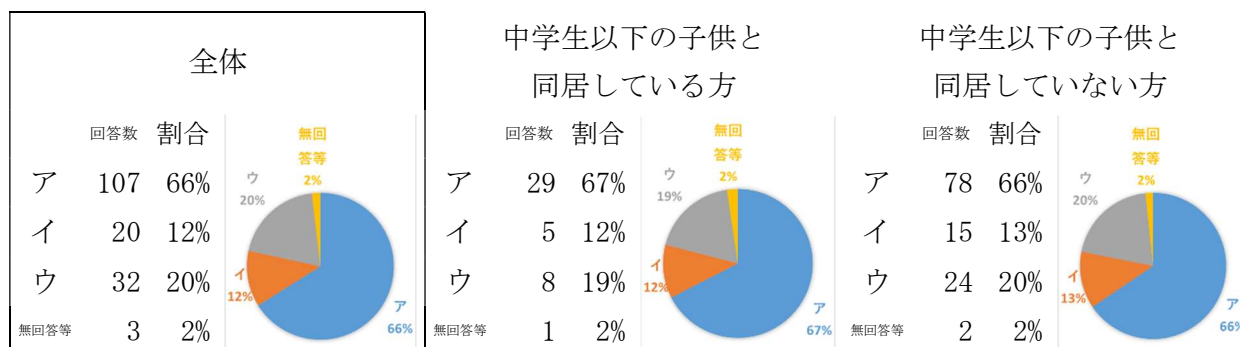
### <回答数>

162世帯／416世帯（回収率 39％）

### <調査結果（抜粋）>

**問3** 上大津西小学校の複式学級などの問題をできるだけ早期に解消するため、菅谷小学校との暫定的な統合を実施した方が良いですか。最も当てはまるものを1つお選びください。

- ア 実施した方が良い
- イ 他の小学校と暫定的に統合した方が良い
- ウ 実施しない方が良い



※その他の調査結果については、巻末に掲載しています。

### 3 上大津西小学校の複式学級などの問題解消に向けた暫定的な対応の方針

上大津西小学校の問題を解消するための暫定的な方策シミュレーションの検討結果（上大津東小学校との暫定統合は校舎や校庭等がさらに手狭となり，神立小学校との暫定統合は通学路が常磐線を跨ぐこととなり，交通安全対策等が必要となる等の問題が発生します）や上大津西小学校の保護者及び上大津西小学校区の地域住民の意向などを踏まえ，上大津西小学校の複式学級などの問題解消に向けた暫定的な対応は以下のとおりとします。

#### （１）方策

上大津西小学校は，学区が隣接し，同じ土浦第五中学校の通学区域内にある菅谷小学校に暫定的に統合とする。

#### （２）実施時期

上大津西小学校の菅谷小学校への暫定的な統合時期は平成３２年４月とする。

#### ■上大津西小学校と菅谷小学校の統合後の児童数，学級数の状況（平成３２年度推計）

上大津西小学校と菅谷小学校の統合後の児童数，学級数の予測（平成３２年度）では，児童数１６８人，学級数６学級となり，市の基本方針で定めた適正規模を満たす学校とはなりません，上大津西小学校の複式学級は解消されることとなります。

		１学年	２学年	３学年	４学年	５学年	６学年	計
上大津西小学校	児童数	３	６	４	５	１３	９	４０
	学級数	(１)	(１)	(１)複式学級		(１)	(１)	(５)
菅谷小学校	児童数	１９	２４	１９	２１	２７	１８	１２８
	学級数	(１)	(１)	(１)	(１)	(１)	(１)	(６)
統合後	児童数	２２	３０	２３	２６	４０	２７	１６８
	学級数	(１)	(１)	(１)	(１)	(１)	(１)	(６)

#### 4 上大津西小学校の問題解消に向けた暫定的な対応の今後の進め方

##### (1) 暫定的な統合に向けての児童に対するケア

菅谷小学校への暫定的な統合に伴い、「集団にうまくなじめるか」「新しい友人関係が築けるか」「学校規模の違いに対応できるか」などの児童が抱く様々な不安を取り除き、新しい学校の生活を円滑に迎えられるよう、両校の教員が話し合いを行い、必要と考えられる事前交流事業などを合同で実施することとします。

##### ア 暫定的な統合前のケア

- ・事前交流事業（合同授業、合同行事（給食、運動会、遠足、児童会など））
- ・学校見学会
- ・保護者や教職員の事前交流など

##### イ 暫定的な統合後のケア

- ・不安や悩みを抱える児童との相談などの対応を行う教員や非常勤講師の配置など

##### (2) 通学支援

暫定的な統合により、新たな通学路の安全確保とともに児童への負担軽減の配慮から、スクールバスを運行することとします。

運行方法や本数、ルート等については、土浦市立小学校通学バス運行指針に基づき、保護者や地域住民、学校関係者により具体的な協議、検討を行い、決定することとします。

##### (3) PTA 組織等の取り扱い

暫定的な統合に伴い必要となる各種の取扱い及び関係事務については、円滑な統合に向けた準備作業を進めるため、保護者や地域住民、学校関係者による（仮称）統合準備協議会を組織し、十分に協議を行い、検討を進めていくこととします。

##### ■主な検討・協議事項

- ・PTA 組織運営（組織再編、規約、役員選出、運営計画、予算等）等
- ・式典行事（閉校式）等

##### (4) 学校跡地利用

学校跡地利用については、市民全体の貴重な財産であるとの認識のもと、まちづくりの観点や将来の健全財政などを考慮しつつ、全市的な視点に立ち、利活用方法の検討を進めることを希望します。



(5) スケジュール

	教育委員会	学校	保護者	地域住民
H30. 11. 6	○上大津地区小学校適正配置実施計画＜中間提言＞			
H30. 12				
H31. 1	○学区審議会の開催 (通学区域変更)			
H31. 2	○保護者及び地域住民説明会の開催			
H31. 3	○議会 学校の設置及び管理に関する条例の一部改正案を上程			
H31. 4	○通学路，スクールバスの運行経路の検討	○学校の事前交流 ○通学路，スクールバスの運行経路の検討 ○PTA 組織運営の検討 ○学校備品等の取扱いの検討	○通学路，スクールバスの運行経路の検討 ○PTA 組織運営の検討 ○学校用品の検討	○閉校（休校）に向けた式典などの検討
				
H32. 4	○上大津西小学校と菅谷小学校の暫定統合			

## V 巻末資料

上大津西小学校の暫定的な対応に関するアンケート調査結果

### <調査の趣旨>

上大津西小学校の子供達にとってよりよい教育環境の整備と学校教育の充実を早期に図るため、上大津西小学校の保護者及び上大津西小学校区の地域住民の意向をアンケート調査により把握し、土浦市上大津地区小学校適正配置検討委員会において、上大津西小学校の今後の方向性を検討するための基礎資料とします。

### <調査対象>

- ・上大津西小学校の保護者 : 33世帯
  - ・上大津西小学校区の地域住民 : 383世帯
- 合計：416世帯

### <実施方法>

郵送によりアンケート用紙を配布、回収（記名あり）

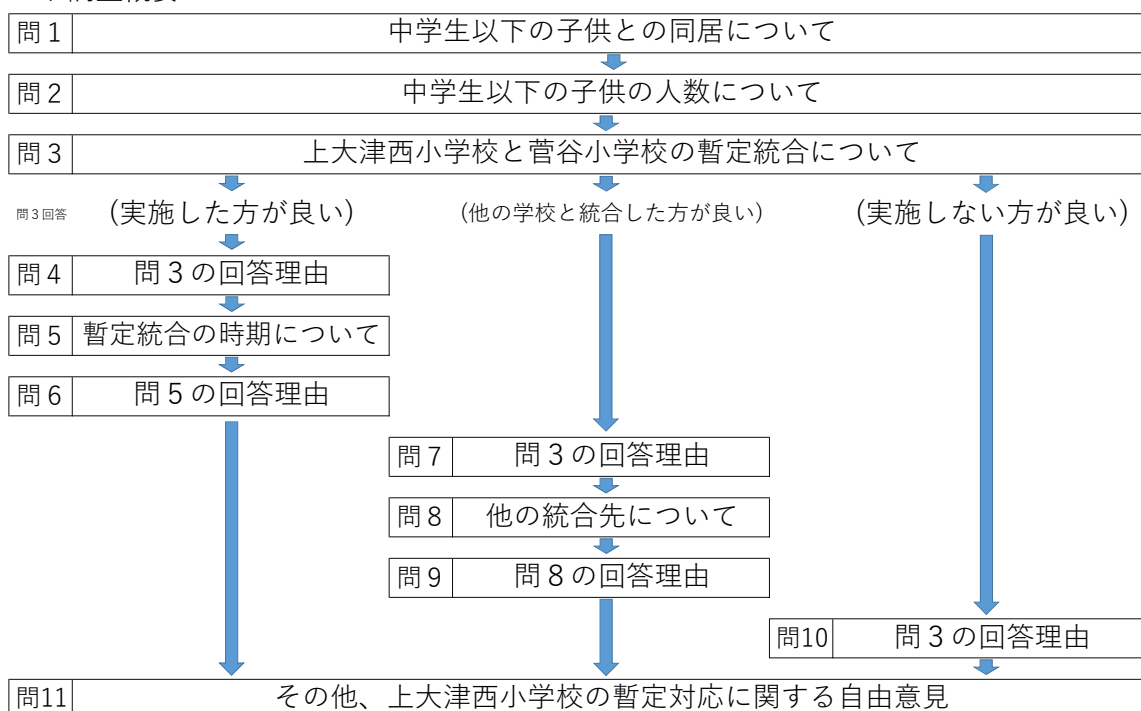
### <実施期間>

平成30年9月22日から平成30年10月5日まで

### <回答数>

	全体	(内訳)	
		中学生以下の子供と同居している世帯	中学生以下の子供と同居していない世帯
調査対象	416世帯	60世帯	356世帯
回答数	162世帯	43世帯	119世帯
回収率	39%	72%	33%

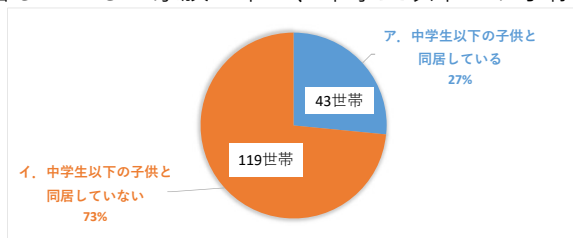
### <アンケート調査概要>



< アンケート結果詳細 >

アンケート回答者の家族状況について

問1 同居しているご家族の中に、中学生以下のお子様はいますか。



問2 同居しているお子様は、次のどれに該当しますか。

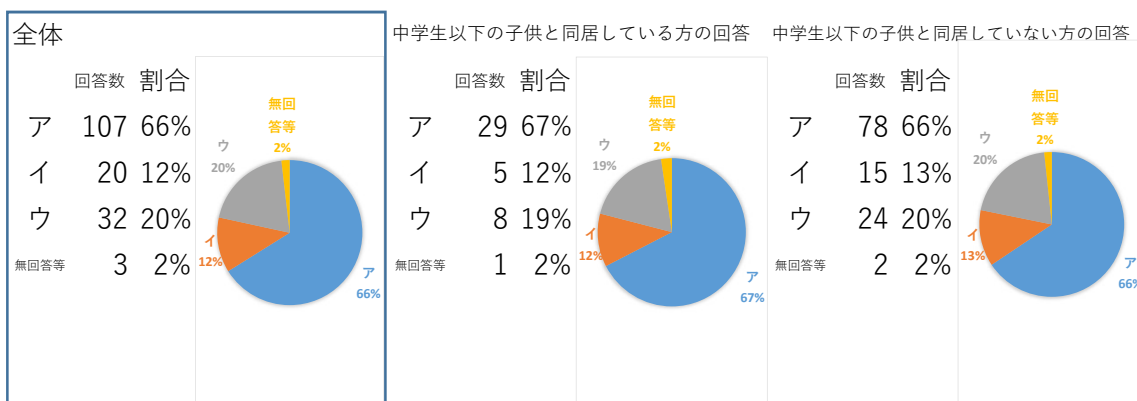
未就学児がいる	18世帯
小学生がいる	28世帯
中学生がいる	12世帯

※ 左記世帯数については、重複も含んでいます。

上大津西小学校と菅谷小学校の暫定統合について

問3 上大津西小学校の複式学級などの問題をできるだけ早期に解消するため、菅谷小学校との暫定的な統合を実施した方が良いですか。

- ア. 実施した方が良い  
 イ. 他の小学校と暫定的に統合した方が良い  
 ウ. 実施しない方が良い

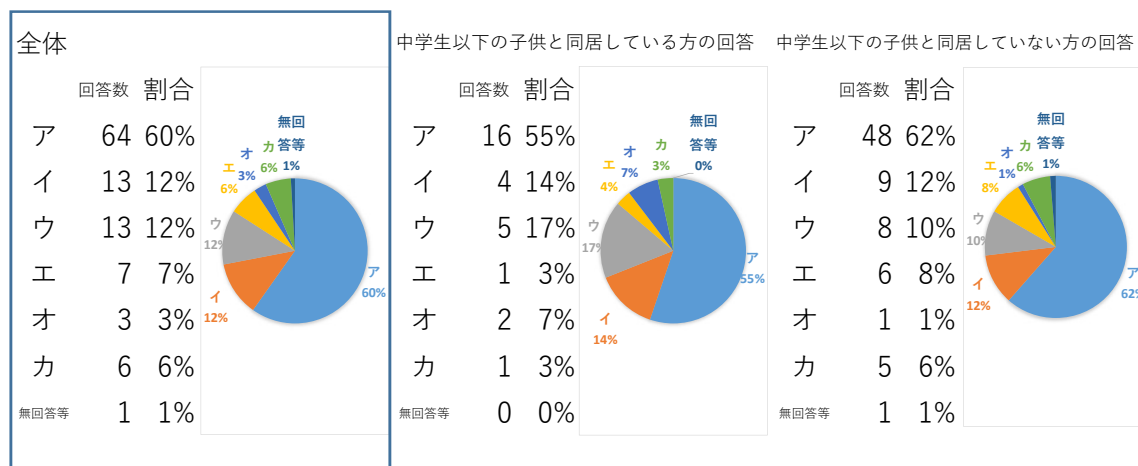


【解説】

- ・ 中学生以下の子供の有無に関わらず、全体の **6 割から 7 割** の方が**菅谷小学校と統合した方が良い**と回答している。
- ・ 中学生以下の子供の有無に関わらず、全体の **約 1 割** の方が**菅谷小学校以外の学校と統合した方が良い**と回答しており、菅谷小学校と統合した方が良いといった回答と合わせると、全体の **約 8 割** の方が**他の学校に統合した方が良い**と回答している。

問4 問3において、「ア. 実施した方が良い」と回答をされた理由として、最も当てはまる理由を1つお選びください。

- ア. 集団の中で、多様な考えに触れ、社会性や協調性を身につけられるため
- イ. 人間関係に変化が生まれ、友達もたくさんできるため
- ウ. 競争意識が高まり、児童が互いに切磋琢磨することができるため
- エ. 運動会や学習発表会などの学校行事において幅広い活動ができるため
- オ. P T A 活動等が円滑に運営できるため
- カ. その他



「カ. その他」の主な回答内容

◆ 中学生以下の子供と同居していない世帯

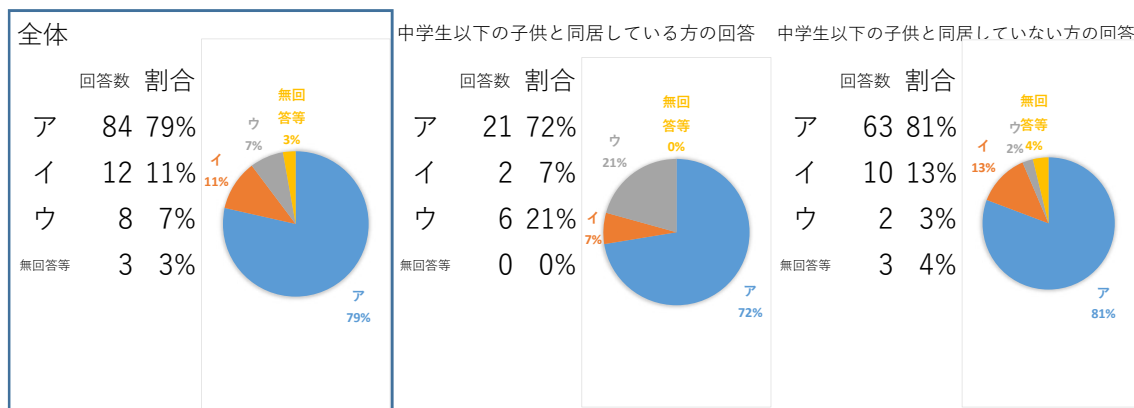
- ・ 少人数なりに良い一面もあるが、将来（中学・高校等）を考えると今のままではいけないと思うため。

【解説】

- ・ 中学生以下の子供の有無に関わらず、全体の約6割の方が「**ア. 集団の中で、多様な考えに触れ、社会性や協調性を身につけられるため**」を理由として、菅谷小学校と暫定統合した方が良いと回答している。

問5 本検討委員会では、「平成31年度末までに統合」という案が出ておりますが、暫定的な統合の実施時期はいつ頃が良いと思いますか。最も良いと思う時期を1つお選びください。

- ア. 平成31年度末までに実施（平成32年4月から新体制スタート）  
 イ. 平成32年度末までに実施（平成33年4月から新体制スタート）  
 ウ. その他



「ウ. その他」の主な回答内容

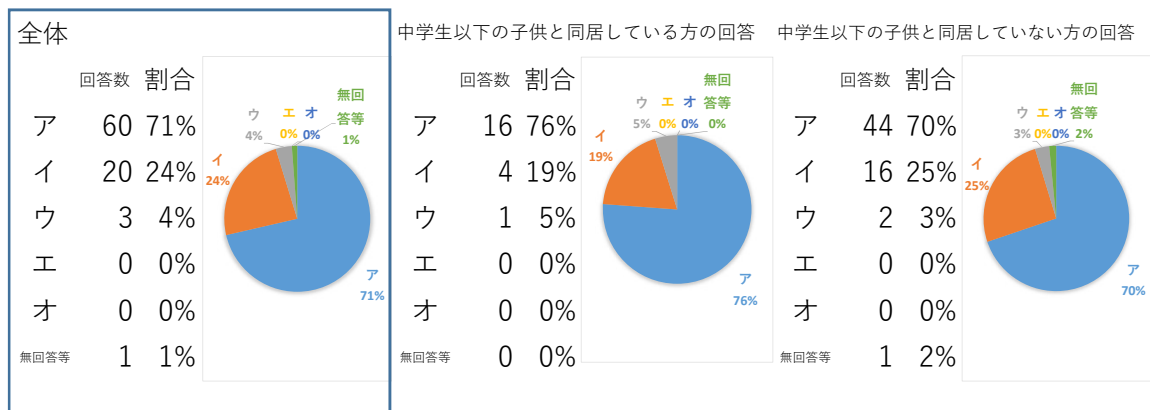
- ◆ 中学生以下の子供と同居している世帯
  - ・ 今すぐにも統合すべき。
  - ・ なるべく早い方が良い。だが、学童がなくなるのは困る。
  - ・ 保護者が納得していればいつでも良い。
- ◆ 中学生以下の子供と同居していない世帯
  - ・ 平成31年4月からスタートできるよう早急に実施すべき。

#### 【解説】

- ・ 中学生以下の子供の有無に関わらず、全体の約7～8割の方が「ア. 平成31年度末までに実施（平成32年4月から新体制スタート）」と回答している。
- ・ 「ウ. その他」と回答をした8名のうち5名の方は、「今すぐ」や「なるべく早く」と回答している。

問 6 ① 問 5 で「ア. 平成 3 1 年度末までに実施（平成 3 2 年 4 月から新体制スタート）」と回答をされた理由として、最も当てはまる理由を 1 つお選びください。

- ア. できるだけ早く複式学級などの問題を解消してほしいため  
 イ. 急激な教育環境の変化は、子供達への負担が大きいため、該当する学校間で事前交流等を実施する期間を設けた方が良いため  
 ウ. 学校運営に係る取り決め等（P T A 規約等）のすり合わせの期間を確保した方が良いため  
 エ. 地域が主体となる閉校事業（記念誌や記念品作成等）の準備に要する期間を確保した方が良いため  
 オ. その他

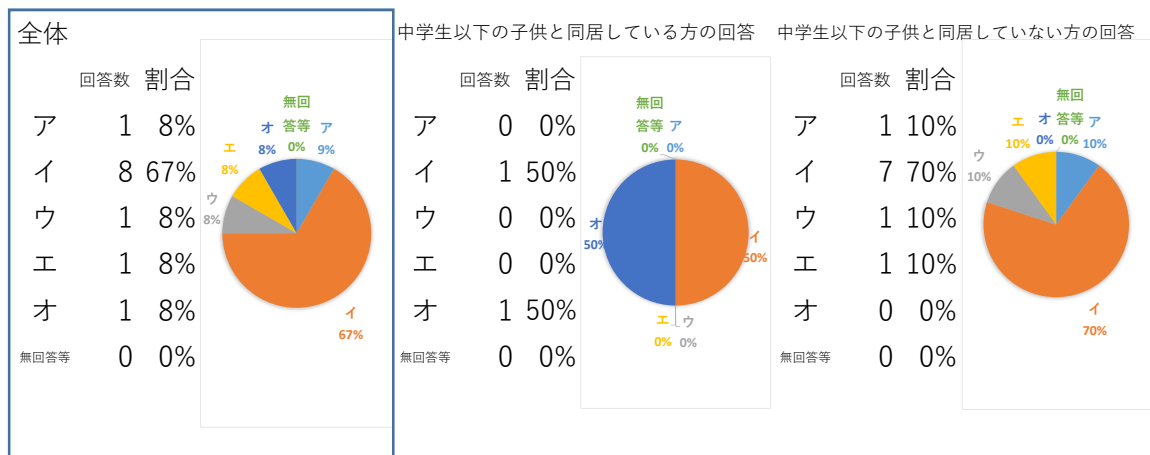


【解説】

- ・ 中学生以下の子供の有無に関わらず、全体の約 7 割の方が「**ア. できるだけ早く複式学級などの問題を解消してほしいため**」と回答しており、約 2 割の方が「**イ. 急激な教育環境の変化は、子供達への負担が大きいため、該当する学校間で事前交流等を実施する期間を設けた方が良いため**」と回答している。
- ・ 中学生以下の子供と同居していない方に比べ、同居している方が「**ア. できるだけ早く複式学級などの問題を解消してほしいため**」を回答している方の割合が高い。

問6② 問5で「**イ. 平成32年度末までに実施（平成33年4月から新体制スタート）**」と回答をされた理由として、最も当てはまる理由を1つお選びください。

- ア. できるだけ早く複式学級などの問題を解消してほしいため  
 イ. 急激な教育環境の変化は、子供達への負担が大きいのので、該当する学校間で事前交流等を実施する期間を設けた方が良いため  
 ウ. 学校運営に係る取り決め等（P T A規約等）のすり合わせの期間を確保した方が良いため  
 エ. 地域が主体となる閉校事業（記念誌や記念品作成等）の準備に要する期間を確保した方が良いため  
 オ. その他



「オ. その他」の主な回答内容

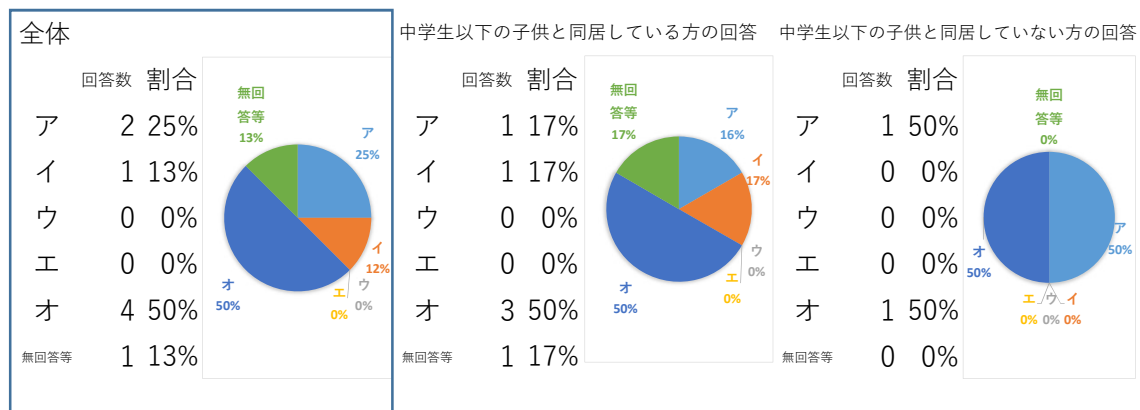
- ◆ 中学生以下の子供と同居している世帯
- ・（イ、ウを選択）

【解説】

- ・ 中学生以下の子供の有無に関わらず、全体の約7割の方が「**イ. 急激な教育環境の変化は、子供達への負担が大きいのので、該当する学校間で事前交流等を実施する期間を設けた方が良いため**」と回答している。

問6③ 問5で「ウ、その他」と回答をされた理由として、最も当てはまる理由を1つお選びください。

- ア. できるだけ早く複式学級などの問題を解消してほしいため  
 イ. 急激な教育環境の変化は、子供達への負担が大きいため、該当する学校間で事前交流等を実施する期間を設けた方が良いため  
 ウ. 学校運営に係る取り決め等（P T A規約等）のすり合わせの期間を確保した方が良いため  
 エ. 地域が主体となる閉校事業（記念誌や記念品作成等）の準備に要する期間を確保した方が良いため  
 オ. その他



「オ. その他」の主な回答内容

- ◆ 中学生以下の子供と同居している世帯
  - ・ 少なすぎる人数はかわいそうだから。
  - ・ 子供が早くそれに慣れるために早く統合した方が良い。
- ◆ 中学生以下の子供と同居していない世帯
  - ・ 児童のことを最優先に考えるため。

【解説】

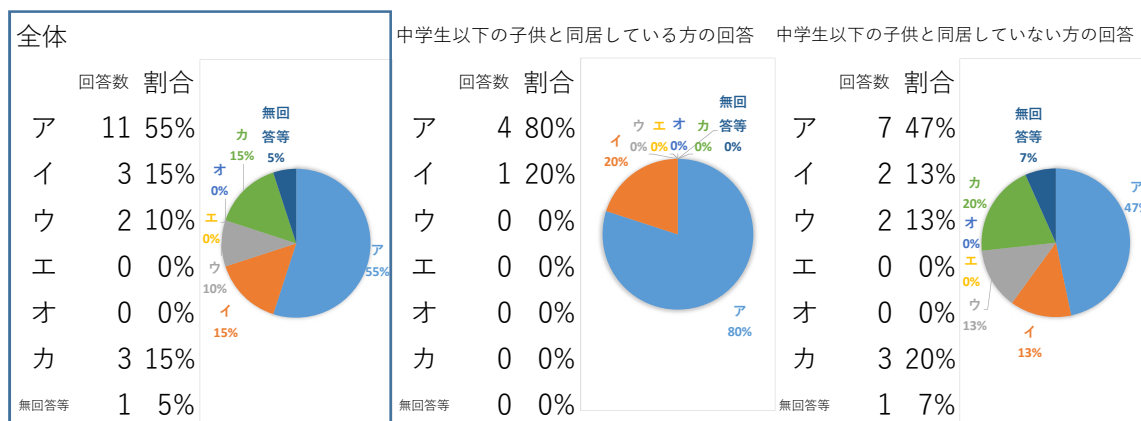
- ・ 中学生以下の子供の有無に関わらず、全体の約3割の方が「ア. できるだけ早く複式学級などの問題を解消してほしいため」と回答しており、「オ. その他」として、「早く統合した方が良い」との回答も見受けられる。



菅谷小学校以外の学校との暫定統合について

問7 問3において、「イ、他の小学校と暫定的に統合した方が良い」と回答をされた理由として、最も当てはまる理由を1つお選びください。

- ア. 集団の中で、多様な考えに触れ、社会性や協調性を身につけられるため
- イ. クラス替えなどにより人間関係に変化が生まれ、友達もたくさんできるため
- ウ. 競争意識が高まり、児童が互いに切磋琢磨することができるため
- エ. 運動会や学習発表会などの学校行事において幅広い活動ができるため
- オ. P T A 活動等が円滑に運営できるため
- カ. その他



「カ. その他」の主な回答内容

◆ 中学生以下の子供と同居していない世帯

- ・これから更に少子高齢化が進む中、上大津地区小学校の在り方を抜本的に見直すべき。部分最適化でなく、全体最適化を望む。

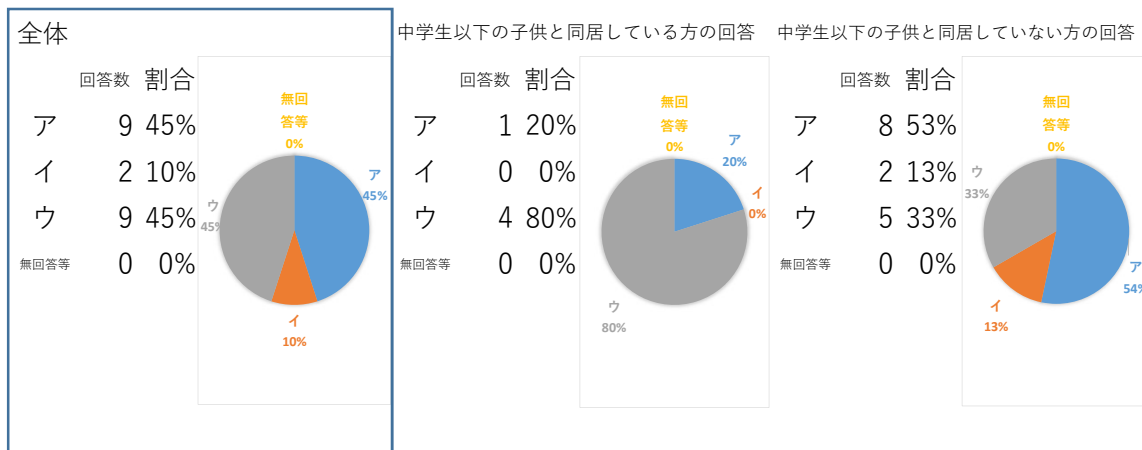
【解説】

- ・「ア. 集団の中で、多様な考えに触れ、社会性や協調性を身につけられるため」との回答の割合は、中学生以下の子供がと同居している方ほど高く、中学生以下の子供と同居している方は約8割、中学生以下の子供と同居していない方は約5割となっている。

問 8

上大津西小学校の複式学級などの問題解消のための暫定的な統合について、どの小学校と実施すべきだと思いますか。最も当てはまるものを1つお選びください。

- ア. 上大津東小学校に統合する
- イ. 神立小学校に統合する
- ウ. その他



「ウ. その他」の主な回答内容

◆ 中学生以下の子供と同居している世帯

- ・ 上大津東小学校が手狭なら一部を上大津西小学校に通学させれば良いのでは。
- ・ 菅谷小学校と上大津東小学校と上大津西小学校の地区でうまく分けて分散する。
- ・ 上大津西小学校と菅谷小学校の子供たちが神立小学校へバス通学。

◆ 中学生以下の子供と同居していない世帯

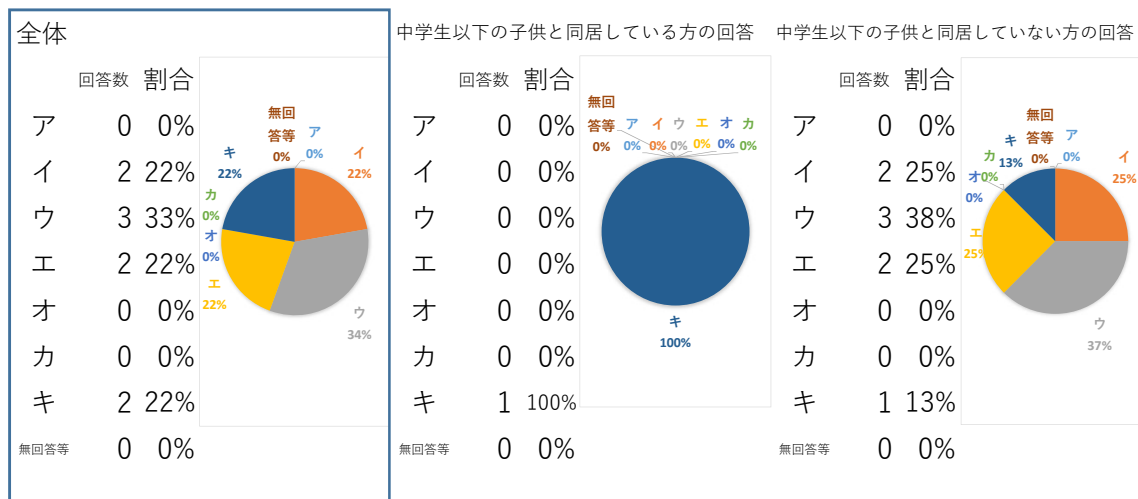
- ・ 上大津東小学校からある程度上大津西小学校へ通わせて存続させたい。
- ・ 現在ある中学校の近くに隣接して建設して統合する。
- ・ 上大津西小学校、上大津東小学校、菅谷小学校の3校で統合。

【解説】

- ・ 全体の約5割の方が「ア. 上大津東小学校に統合する」と回答しており、その割合は中学生以下の子供と同居している方よりも同居していないの方が高くなっている。

問 9 ① 問 8 で「ア. 上大津東小学校に統合する」と回答をされた理由として、最も当てはまる理由を 1 つお選びください。

- ア. 統合先の学校施設（学習環境や校庭の広さなど）が整っているため
- イ. 統合先の学校周囲の環境（周辺道路や自然環境など）が整っているため
- ウ. 統合後の学習環境に急激な変化が生じないため
- エ. 従前からの友人や知人が多いため
- オ. 自宅から近く、登下校時などの安全が確保できるため
- カ. 学校間の調整がスムーズに行えるため
- キ. その他



「キ. その他」の主な回答内容

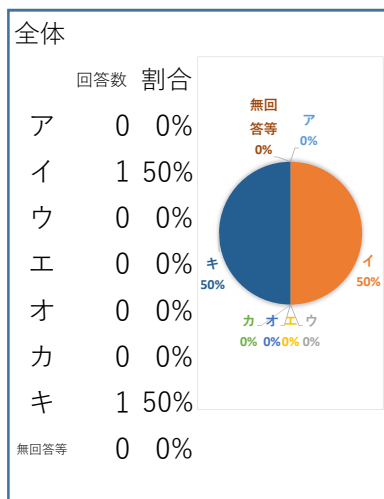
- ◆ 中学生以下の子供と同居している世帯
  - ・ 暫定統合案では適正規模を満たせない。
- ◆ 中学生以下の子供と同居していない世帯
  - ・ 上大津東小学校が多いため、半分上大津西小学校に来てもらいたい。

【解説】

- ・ 「**ウ. 統合後の学習環境に急激な変化が生じないため**」と回答した方が全体の**約 3 割**を占めており、「**イ. 統合先の学校周囲の環境（周辺道路や自然環境など）が整っているため**」「**エ. 従前からの友人や知人が多いため**」「**キ. その他**」と回答した方がそれぞれ全体の**約 2 割**を占めている。

問9② 問8で「**イ. 神立小学校に統合する**」と回答をされた理由として、最も当てはまる理由を1つお選びください。

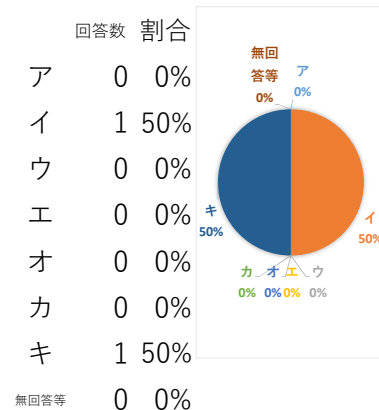
- ア. 統合先の学校施設（学習環境や校庭の広さなど）が整っているため
- イ. 統合先の学校周囲の環境（周辺道路や自然環境など）が整っているため
- ウ. 統合後の学習環境に急激な変化が生じないため
- エ. 従前からの友人や知人が多いため
- オ. 自宅から近く、登下校時などの安全が確保できるため
- カ. 学校間の調整がスムーズに行えるため
- キ. その他



中学生以下の子供と同居している方の回答

中学生以下の子供と同居していない方の回答

回答なし



「キ. その他」の主な回答内容

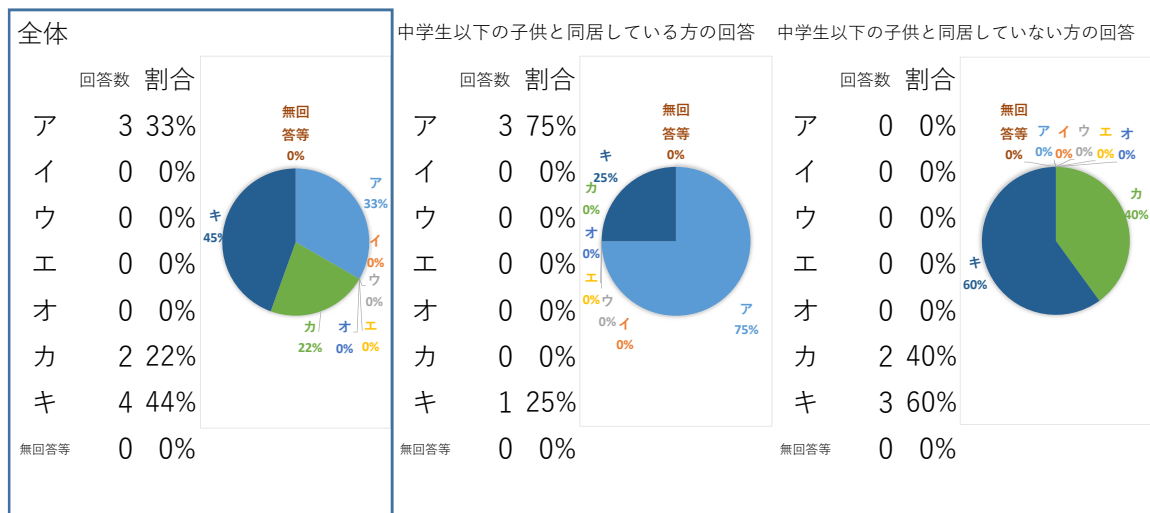
- ◆ 中学生以下の子供と同居していない世帯
  - ・ 社会性や協調性を身につけられる。

【解説】

- ・ 「**イ. 統合先の学校周囲の環境（周辺道路や自然環境など）が整っているため**」又は「**キ. その他（社会性や協調性を身につけられる）**」と回答している方は、各々1名ずつである。

問9③ 問8で「ウ、その他」と回答をされた理由として、最も当てはまる理由を1つお選びください。

- ア. 統合先の学校施設（学習環境や校庭の広さなど）が整っているため
- イ. 統合先の学校周囲の環境（周辺道路や自然環境など）が整っているため
- ウ. 統合後の学習環境に急激な変化が生じないため
- エ. 従前からの友人や知人が多いため
- オ. 自宅から近く、登下校時などの安全が確保できるため
- カ. 学校間の調整がスムーズに行えるため
- キ. その他



「キ. その他」の主な回答内容

- ◆ 中学生以下の子供と同居していない世帯
  - ・ 問7，8同様、全体最適での検討を望む。
  - ・ 土浦第五中学校のそばに3小統合で作ったほうがいい。

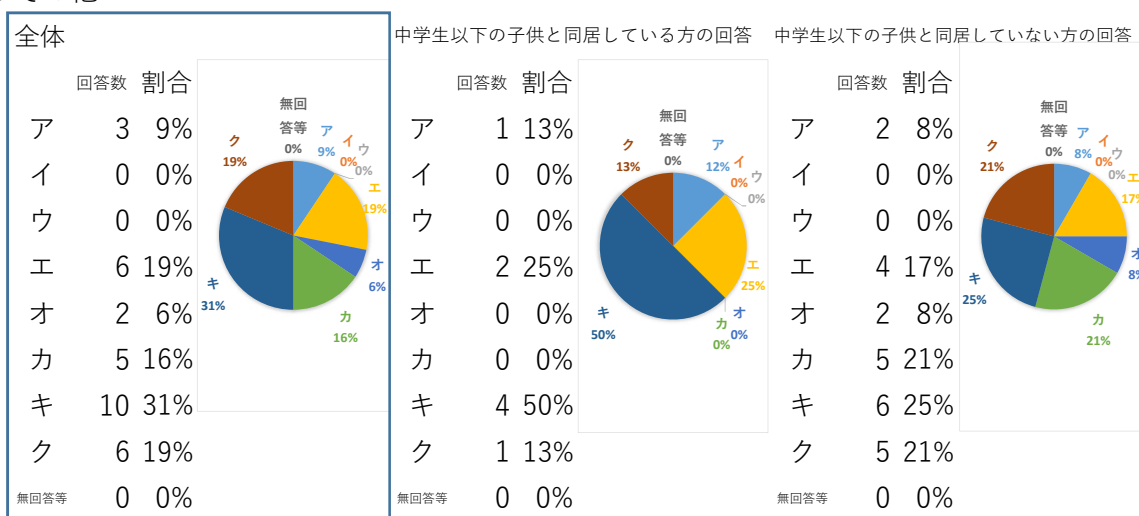
#### 【解説】

- ・ 中学生以下の子供と同居している方の約8割の方が「**ア. 統合先の学校施設（学習環境や校庭の広さなど）が整っているため**」と回答しており、中学生以下の子供と同居していない方は、4割の方が「**カ. 学校間の調整がスムーズに行えるため**」と回答している。

暫定統合を実施しない方が良いとの回答について

問10 問3において、「**ウ、実施しない方が良い**」と回答をされた理由として、最も当てはまる理由を1つお選びください。

- ア. 児童一人ひとりに目が行き届きにくくなり、きめ細やかな教育が受けられなくなるため  
 イ. 児童一人ひとりの個別の活動機会の場が少なくなるため  
 ウ. 運動場・体育館などの施設や特別教室、教材備品など余裕をもって利用できなくなるため  
 エ. 母校がなくなること、また、地域に子供の姿が見えなくなることが寂しいため  
 オ. 閉校後の防犯、防災対策等に不安があるため  
 カ. 特に問題を感じておらず、現状のままで良いため  
 キ. 早期に実施する必要はなく、上大津地区全体の適正配置の中で実施する方が良いため  
 ク. その他



「ク. その他」の主な回答内容

- ◆ 中学生以下の子供と同居していない世帯
- ・ 伝統のある小学校ですので、なるべく存続していただきたい。（エ、オ、カ、キも選択）
  - ・ 上大津西小学校を残し、菅谷小学校の子供に来てほしい。
  - ・ 上大津東小学校の児童の一部を上大津西小学校に通学するようにし、児童数のバランスを図る。
  - ・ 「キ」に近いですが、統合するなら対等合併にしてほしい。土浦第五中学校のところに上大津西小学校、上大津東小学校、菅谷小学校を合わせた小中一貫的な学校を作してほしい。あるいは現状のまま、あるいは学区を見直す。

【解説】

- ・ 中学生以下の子供と同居している方の約5割、中学生以下の子供と同居していない方の約3割の方が、「**キ、早期に実施する必要はなく、上大津地区全体の適正配置の中で実施する方が良いため**」と回答している。
- ・ 中学生以下の子供と同居していない方の約2割の方が「**カ、特に問題を感じておらず、現状のままで良いため**」と回答しているが、中学生以下の子供と同居している方は「**カ、特に問題を…**」と回答しておらず、問題として捉えている。
- ・ 中学生以下の子供の有無に関わらず、約2割の方が「**エ、母校がなくなること、また、地域に子供の姿が見えなくなることが寂しいため**」と回答している。